

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		特定建設資材を適切に管理し、処理している。また、エコアクション21を取得している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		無駄なガソリン消費を抑えるため、現場までの通勤に使用する車両や建設機械のアイドリングに取り組んでいる。また、エコアクション21を取得している。							7.3					13											
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		熊本県のHPから「通勤時におけるCO2排出量計算シート」を利用して、所有する車両の温室効果ガスの排出量を把握している。また、エコアクション21を取得している。		2.4								7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15								
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		極力環境に悪影響を及ぼさないようにするため、木を傷めない、草を刈らない等、慎重に作業を進めている。また、動物たちが逃げたりしないよう、低騒音、低振動を心掛けている。ボランティアとして、草刈りに取り組んでいる。					6.6									14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		工事に使う材料をできるだけ繰り返し使えるよう、整理している。また事務所では、裏紙をメモ用紙やFAXなどの印刷用紙として利用している。						6.6						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		トイレを利用するときは一番小さい「小」で流したり、手洗いや洗いの時でも一番少ない水の量に調整をして利用し、日ごろから節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b							11.5				14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		積極的に再生資源の使用に取り組む、またエコマーク等の商品を購入するように取り組んでいる。エコアクション21を取得している。													9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4										12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		調査及び計画段階で緑化工の施工が可能かどうかを最優先に考えている。緑化施工後は追跡調査を自主的にを行い、維持管理に取り組んでいる。																	11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a			9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6							9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6										11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																					12.2 12.5		14		
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																	9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a				9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2		

